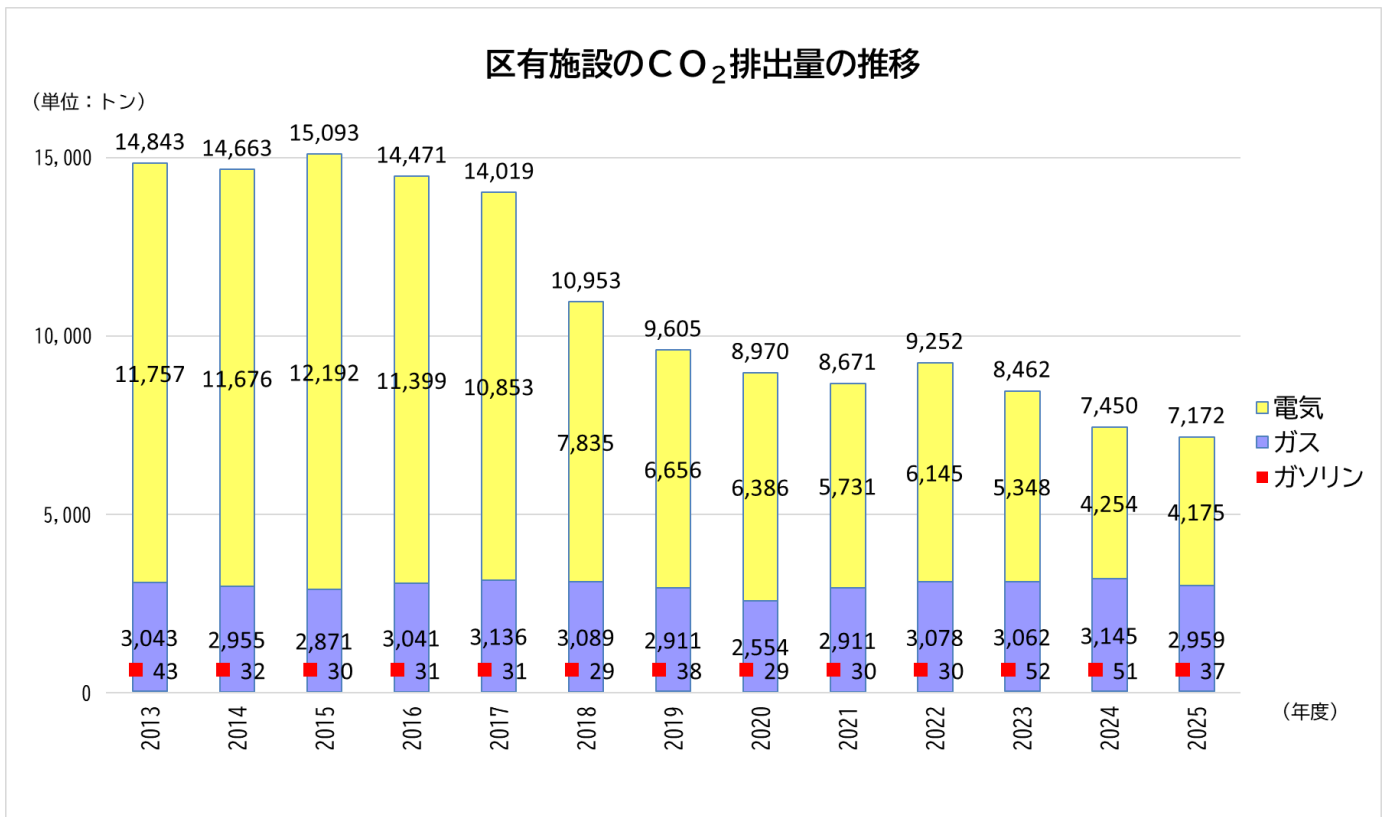


区有施設のCO₂排出量について



CO₂排出量は当該年度の調整後排出係数※で算出

令和7年度のCO₂排出量 7,172 トン（基準年度比 51.7%減、前年度比 3.7%減）

排出係数：エネルギーを消費したときに発生するCO₂を算定するための値をいいます。

$\text{CO}_2\text{排出量} = \text{エネルギー使用量} \times \text{そのエネルギーのCO}_2\text{排出係数}$

電気の排出係数は、毎年度変動します。

実際のCO₂排出量を把握するため、当該年度の排出係数を用いて算出

<参考指標>

■電気の再エネ化状況

施設数ベースの再エネ化率： 65.3% (32 施設 / 49 施設)

年間使用量ベースの再エネ化率： 77.9% (18,089,760kWh / 23,214,675kWh)

削減効果： 8,176.6t-CO₂ (18,089,760kWh × 0.000452t-CO₂/kWh)

※街路灯等を除く

※削減効果の算定方法：再エネ使用量 × 直近の東京電力調整後排出係数

■カーボンオフセット都市ガス※導入施設

本庁舎 (R7.2～)、麴町二丁目公共施設 (R8.2～)、神田一橋中学校 (R8.3～)

※ガスの燃焼によって排出される二酸化炭素 (CO₂) を、J-クレジット等を用いて相殺することで
温対法に基づく調整後排出係数をゼロとする都市ガスを指します。